

姨捨の棚田整備計画の作成について

千曲市歴史文化財センター

1 姨捨の棚田整備計画作成の目的

- ・姨捨の棚田は、名勝及び重要文化的景観に指定され、また、日本遺産の主要な構成文化財にもなっている。
- ・棚田での耕作は、所有者（耕作者）のほか、棚田オーナー制や保全団体により耕作の維持が図られてきたが、高齢化等により耕作の維持が危惧される状況となっている。
- ・姨捨の棚田の守るべき価値を共有し、その特性を生かした耕作の継続を図るため、整備計画を策定する。

2 整備目標

*** 姨捨棚田での耕作を維持する**

3 整備基本方針

①耕作条件の改善

- ・小型機械での耕作を可能となるような農道の整備
- ・取り入れ、排水が容易となるような水路整備
- ・棚田オーナー制を維持するための施設整備 など

②棚田の魅力向上

- ・棚田と長楽寺等、周辺施設が一体となるような眺望景観の整備
- ・棚田の豊かな自然環境の保全
- ・棚田見学者への案内、説明を行う人材育成 など

③交流人口の増加

- ・棚田見学者のための施設（駐車場、トイレ、物販施設など）整備
- ・棚田見学路の整備、見学にあたってのルール化
- ・案内板、説明板等の設置 など

④体制の整備

- ・棚田耕作の担い手を確保するための体制整備